

(6) 財団法人 鳥取県国際交流財団経営状況報告書

一 法人の概要

- 1 名 称 財団法人 鳥取県国際交流財団
- 2 目 的 本県における国際交流推進の基盤づくりと国際交流活動の支援を行い、県民・民間団体・行政が一体となって全県的な国際交流活動を推進することにより、国際性豊かな県民の育成と地域の活性化を図るとともに、世界に開かれ、世界に貢献する鳥取県づくりに寄与することを目的とする。
- 3 設立許可年月日 平成2年11月1日
- 4 設立登記年月日 平成2年11月2日
- 5 基本財産 出えん金 630,728,717円
鳥取県出えん金 500,320,000円
関係市町村出えん金 100,000,000円
民間団体出えん金 30,408,717円
- 6 役員 理事 15人 監事 2人
- 理事長 能勢隆之(国立大学法人鳥取大学学長)
- 副理事長 藤井喜臣(鳥取県副知事)
- 常務理事 山下俊一
- 理事 長井勇喜夫(株式会社山陰合同銀行代表取締役専務)
- 〃 山下恭史(株式会社鳥取銀行常務執行役員)
- 〃 鷺見邦弘(米子信用金庫理事長)
- 〃 岡田克夫(社団法人鳥取県医師会理事)
- 〃 西原昌彦(社会福祉法人鳥取県厚生事業団理事長)
- 〃 石田彰治(日本放送協会鳥取放送局長)
- 〃 若良二(国立大学法人鳥取大学副学長・国際交流センター長)
- 〃 岡村能里子(鳥取県日仏友好協会事務局長)
- 〃 渡邊眞子(ドイツを語る会事務局長)
- 〃 高増華(リコーITソリューションズ株式会社社員)
- 〃 アベ山田マリアルイサ
(国立大学法人鳥取大学非常勤講師)

理事 志直 瑞穂（青年海外協力隊鳥取県OV会会員）

監事 藤本 英興（鳥取信用金庫理事長）

” 森本 捷昭（前国立大学法人鳥取大学監事）

7 職員 13人（うち県派遣職員 1人、県職員と併任 2人）

8 事務所 本所 鳥取市湖山町西四丁目110番地5

倉吉事務所 倉吉市東巖城町2番地

米子事務所 米子市末広町294番地

二 平成21年度事業実施状況

[一般会計]

県民の国際理解を深め、また、国際交流の推進や多文化共生意識の啓発に資するため、次の事業を実施した。

1 鳥取県国際交流財団運営事業

地域レベルにおける国際化推進のため、鳥取空港国際会館内に財団本所（県より国際交流センターの管理・運営を受託）、中部総合事務所別館内に倉吉事務所、米子コンベンションセンター内に米子事務所を設置し運営を行った。21年度は米子事務所の拡充に重点を置き、交流スペースを確保するとともに職員を1名増員し、土・日曜日も開所してサービスの向上に努めるなど一層の機能強化を図った。また、外国出身者の日常生活における言語及び文化の違いによる障壁をできるだけ低くするべく、英語圏及び中国語圏出身の国際交流コーディネーターを配置し、面談や電話等により、母国語による三者通話機能を活用した困りごと等の相談に応じるとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行った。また、県民の語学のブラッシュアップのためのチャットや海外事情に関する情報提供、ホームページやメールマガジン、機関紙といった情報ツールによる発信情報等の翻訳、国際理解を促す財団事業の企画、運営のほか、学校や地域の要請に応じた国際理解講座の講師を勤めた。

2 情報収集・提供事業

多言語（日本語・英語・中国語版）によるホームページの運営とメールマガジンの配信、機関紙「とっとり国際通信」の発行を通じて、県民及び在住の外国出身者への情報提供を行った。

メールマガジンについては、21年度より外国語版（英語・中国語・タガログ語）については、携帯電話向けの配信に切り替え、緊急の際早期に情報伝達ができるシステムを構築した。また、図書や視聴覚資料、海外新聞や雑誌を購入し、来館者の閲覧や貸出に供した。

3 交流活動支援事業

ホームステイを通じた地域における国際理解の促進を図るための「ホームステイ活性化プログラム」や、県内の活動団体の連携・情報交換のための「国際交流・協力団体連絡会議」を開催した。また、中国四国地方の地域国際化協会が一堂に会するブロック会議に出席し、共通課題について意見交換を行った。

4 国際化推進事業

地域の国際化を推進するため、鳥取空港空の日のイベントに併せて、パフォーマンスの披露や民族衣装の試着、撮影などを通じて異文化理解を深める場として「ワールドアラカルト」を開催した。また、子どものための異文化理解体験講座「わいわい（wide wide）ワールド」と、

県民と在住の外国出身者が気軽に交流できる機会として「国際交流の集い」を開催した。

5 海外移住・海外技術協力事業

県費留学生・海外技術研修員等の受入（ブラジル、韓国江原道、中国吉林省、モンゴル）、海外県人会への助成、青年海外協力隊の活動を広く県民に紹介するための支援事業を行った。

6 在住外国人支援事業

県内における在住外国人が増加しているなか、異なる文化背景を持つ人々が互いに差異を認め合い尊重しながら共に地域住民としてより良く生活していくため、またそれが地域社会の活性化にも繋がるような多文化共生社会の構築を目指して、関係機関連絡調整会議を開催して連携を図るとともに、医療通訳ボランティア養成講座を開催し、修了者を登録ボランティアとして医療・保健機関に派遣する「医療通訳ボランティア派遣制度」の構築と意識啓発に努めた。また留学生を対象にした「オリエンテーション」や「私費留学生のための奨学金支給制度」、日本語学習支援のための「日本語クラス」を運営するとともに、ボランティアやクラス講師の研修のための「日本語教育講座」を開催したほか、ボランティア登録制度の運営、在留資格相談窓口の運営を行った。

[山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計]

山陰・夢みなと博覧会記念基金により、県民参加型の国際交流事業への助成（13件）と、多文化共生パネルディスカッション『「ダーリンは外国人」 in とっとり』を実施した。

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 計 算 書 総 括 表

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

科 目	一般会計	山陰・夢みなど 博覧会記念基金 特別会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
I 事業活動収入	80,283,744	8,772,453		89,056,197
1 基本財産運用収入	9,624,273			9,624,273
(1) 基本財産利息収入	9,624,273			9,624,273
2 特定資産運用収入	16,260	8,767,698		8,783,958
(1) 退職給付積立金利息 収入	16,260			16,260
(2) 基金利息収入		8,767,698		8,767,698
3 会費収入	175,000			175,000
(1) 賛助会員会費収入	175,000			175,000
4 事業収入	55,700			55,700
(1) 参加費等事業収入	55,700			55,700
5 補助金等収入	70,052,743			70,052,743
(1) 県補助金収入	45,076,209			45,076,209
(2) 県受託収入	24,476,534			24,476,534
(3) 民間助成金収入	500,000			500,000
6 負担金収入	260,703			260,703
(1) 負担金収入	260,703			260,703
7 雑収入	99,065	4,755		103,820
(1) 受取利息収入	99,065	4,755		103,820
II 投資活動収入	42,008,641			42,008,641
1 基本財産取崩収入	40,102,000			40,102,000
(1) 基本財産取崩収入	40,102,000			40,102,000
2 特定資産取崩収入	1,906,641			1,906,641
(1) 退職給付引当資産取 崩収入	1,906,641			1,906,641
当期収入合計(A)	122,292,385	8,772,453	0	131,064,838
前期繰越収支差額	3,398,253	14,548,615	0	17,946,868
収入合計(B)	125,690,638	23,321,068	0	149,011,706

科 目		一般会計	山陰・夢みなど 博覧会記念基金 特別会計	内部取引消去	合計
		円	円	円	円
支 出	I 事業活動支出	80,712,043	12,043,261		92,755,304
	1 管理費支出	4,226,737			4,226,737
	(1) 職員給与費	134,772			134,772
	(2) その他経費	4,091,965			4,091,965
	2 事業費支出	76,485,306	12,043,261		88,528,567
	(1) 職員給与費	28,177,616			28,177,616
	(2) 財団運営費支出	21,378,721			21,378,721
	(3) 情報収集提供事業費 支出	4,307,422			4,307,422
	(4) 交流活動支援事業費 支出	862,109			862,109
	(5) 国際化推進事業費支 出	1,787,523			1,787,523
	(6) 海外移住・海外技術 協力事業費支出	12,882,026			12,882,026
	(7) 在住外国人支援事業 費支出	7,089,889			7,089,889
	(8) 多文化共生講演会事 業費支出		1,746,391		1,746,391
	(9) 国際交流助成事業費 支出		10,166,000		10,166,000
	(10) 事務局費支出		130,870		130,870
II 投資活動支出	40,910,533			40,910,533	
1 基本財産取得支出	40,102,000			40,102,000	
(1) 基本財産取得支出	40,102,000			40,102,000	
2 特定資産取得支出	808,533			808,533	
(1) 退職給付積立金取得 支出	808,533			808,533	
当期支出合計(C)	121,622,576	12,043,261		0	133,665,837
当期収支差額(A)-(C)	669,809	△ 3,270,808		0	△ 2,600,999
次期繰越収支差額(B)-(C)	4,068,062	11,277,807		0	15,345,869

財団法人 鳥取県国際交流財団
貸借対照表総括表

(平成22年3月31日現在)

科 目	一般会計	山陰・夢みなど博 覧会記念基金特別 会計	内部取引消去	合計
	円	円		円
I 資産の部				
1 流動資産				
普通預金	14,731,672	11,277,807		26,009,479
未収金	6,136			6,136
仮払金	20,214			20,214
流動資産合計	14,758,022	11,277,807	0	26,035,829
2 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産資産	248,227			248,227
基本財産債券	630,457,791			630,457,791
基本財産合計	630,706,018	0	0	630,706,018
(2) 特定資産				
退職給付積立資産	6,668,664			6,668,664
山陰・夢みなど博覧会記念基 金積立資産		76,689,000		76,689,000
山陰・夢みなど博覧会記念基 金債券		670,200,000		670,200,000
特定資産合計	6,668,664	746,889,000	0	753,557,664
(3) その他固定資産				
什器備品	1,529,747	10,920		1,540,667
財源調整積立資産	32,316,035			32,316,035
電話加入権	224,952			224,952
敷金	126,000			126,000
その他固定資産合計	34,196,734	10,920	0	34,207,654
固定資産合計	671,571,416	746,899,920	0	1,418,471,336
資産合計	686,329,438	758,177,727	0	1,444,507,165
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	10,135,993			10,135,993
前受会費	30,000			30,000
預り金	249,067			249,067
未払消費税等	274,900			274,900
流動負債合計	10,689,960	0	0	10,689,960
2 固定負債				
退職給付引当金	6,668,664			6,668,664
固定負債合計	6,668,664	0	0	6,668,664
負債合計	17,358,624	0	0	17,358,624

科 目	一般会計	山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計	内部取引消去	合計
	円	円		円
Ⅲ 正味財産の部				
1 指定正味財産				
寄附金	630,728,717	749,568,690		1,380,297,407
基本財産運用益	△ 22,699			△ 22,699
特定資産運用益		8,609,037		8,609,037
指定正味財産合計	630,706,018	758,177,727	0	1,388,883,745
(うち基本財産への充当額)	(630,706,018)	(0)	(0)	(△ 590,612,717)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(746,889,000)	(0)	(746,889,000)
2 一般正味財産	38,264,796	0	0	38,264,796
正味財産合計	668,970,814	758,177,727	0	1,427,148,541
負債及び正味財産	686,329,438	758,177,727	0	1,444,507,165

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
支	I 事業活動支出	91,960,000	80,712,043	11,247,957	
	1 管理費支出	5,519,000	4,226,737	1,292,263	
	(1) 職員給与費	135,000	134,772	228	
	(2) その他経費	5,384,000	4,091,965	1,292,035	
	2 事業費支出	86,441,000	76,485,306	9,955,694	
	(1) 職員給与費	29,380,000	28,177,616	1,202,384	
	(2) 財団運営費支出	24,723,000	21,378,721	3,344,279	
	(3) 情報収集提供事業費 支出	5,122,000	4,307,422	814,578	
	(4) 交流活動支援事業費 支出	1,389,000	862,109	526,891	
	(5) 国際化推進事業費支 出	2,182,000	1,787,523	394,477	
	(6) 海外移住・海外技術 協力事業費支出	15,244,000	12,882,026	2,361,974	
	(7) 在住外国人支援事業 費支出	8,401,000	7,089,889	1,311,111	
	II 投資活動支出	42,309,000	40,910,533	1,398,467	
	1 基本財産取得支出	41,008,000	40,102,000	906,000	
	(1) 基本財産取得支出	41,008,000	40,102,000	906,000	
2 特定資産取得支出	1,301,000	808,533	492,467		
(1) 退職給付積立金取得 支出	1,301,000	808,533	492,467		
出	当期支出合計(C)	134,269,000	121,622,576	12,646,424	
	当期収支差額(A)-(C)	△ 3,399,000	669,809	△ 4,068,809	
	次期繰越収支差額(B)-(C)	0	4,068,062	△ 4,068,062	

財団法人 鳥取県国際交流財団
貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(一般会計)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
普通預金	14,731,672	15,496,251	△ 764,579
未収金	6,136	95,920	△ 89,784
仮払金	20,214	4,758	15,456
流動資産合計	14,758,022	15,596,929	△ 838,907
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産資産	248,227	350,227	△ 102,000
基本財産債券	630,457,791	630,368,490	89,301
基本財産合計	630,706,018	630,718,717	△ 12,699
(2) 特定資産			
退職給付積立資産	6,668,664	7,766,772	△ 1,098,108
特定資産合計	6,668,664	7,766,772	△ 1,098,108
(3) その他固定資産			
什器備品	1,529,747	204,508	1,325,239
財源調整積立資産	32,316,035	32,316,035	0
電話加入権	224,952	224,952	0
敷金	126,000	126,000	0
その他固定資産合計	34,196,734	32,871,495	1,325,239
固定資産合計	671,571,416	671,356,984	214,432
資産合計	686,329,438	686,953,913	△ 624,475
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	10,135,993	10,359,815	△ 223,822
前受会費	30,000	54,000	△ 24,000
預り金	249,067	221,248	27,819
基金特別会計借入金	0	852,630	△ 852,630
収益事業特別会計借入金	0	44,883	△ 44,883
未払消費税等	274,900	666,100	△ 391,200
流動負債合計	10,689,960	12,198,676	△ 1,508,716
2 固定負債			
退職給付引当金	6,668,664	7,766,772	△ 1,098,108
固定負債合計	6,668,664	7,766,772	△ 1,098,108
負債合計	17,358,624	19,965,448	△ 2,606,824
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄附金	630,728,717	630,728,717	0
基本財産運用益	△ 22,699	△ 10,000	△ 12,699
指定正味財産合計	630,706,018	630,718,717	△ 12,699
(うち基本財産への充当額)	(630,706,018)	(630,718,717)	(△ 12,699)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	38,264,796	36,269,748	1,995,048
正味財産合計	668,970,814	666,988,465	1,982,349
負債及び正味財産	686,329,438	686,953,913	△ 624,475

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 計 算 書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収 入		円	円	円	
	I 事業活動収入	9,545,000	8,772,453	772,547	
	1 特定資産運用収入	9,544,000	8,767,698	776,302	
	(1) 基金利息収入	9,544,000	8,767,698	776,302	
	2 雑収入	1,000	4,755	△ 3,755	
	(1) 受取利息収入	1,000	4,755	△ 3,755	
	当期収入合計(A)	9,545,000	8,772,453	772,547	
	前期繰越収支差額	14,549,000	14,548,615	385	
	収入合計(B)	24,094,000	23,321,068	772,932	
	支 出	I 事業活動支出	22,094,000	12,043,261	10,050,739
1 事業費支出		22,094,000	12,043,261	10,050,739	
(1) 多文化共生講演会事業費支出		3,000,000	1,746,391	1,253,609	
(2) 国際交流助成事業費支出		18,594,000	10,166,000	8,428,000	
(3) 事務局費支出		500,000	130,870	369,130	
II 予備費支出		2,000,000	0	2,000,000	
当期支出合計(C)		24,094,000	12,043,261	12,050,739	
当期収支差額(A)-(C)		△ 14,549,000	△ 3,270,808	△ 11,278,192	
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	11,277,807	△ 11,277,807	

財団法人 鳥取県国際交流財団
貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
普通預金	11,277,807	13,695,985	△ 2,418,178
一般会計貸付金	0	852,630	△ 852,630
流動資産合計	11,277,807	14,548,615	△ 3,270,808
2 固定資産			
(1) 特定資産			
山陰・夢みなと博覧会記念基金積立資産	76,689,000	76,689,000	0
山陰・夢みなと博覧会記念基金債券	670,200,000	670,200,000	0
特定資産合計	746,889,000	746,889,000	0
(2) その他固定資産			
什器備品	10,920	18,564	△ 7,644
その他固定資産合計	10,920	18,564	△ 7,644
固定資産合計	746,899,920	746,907,564	△ 7,644
資産合計	758,177,727	761,456,179	△ 3,278,452
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄附金	749,568,690	749,568,690	0
特定資産運用益	8,609,037	11,887,489	△ 3,278,452
指定正味財産合計	758,177,727	761,456,179	△ 3,278,452
(うち特定資産への充当額)	(746,889,000)	(746,889,000)	(0)
2 一般正味財産	0	0	0
正味財産合計	758,177,727	761,456,179	△ 3,278,452
負債及び正味財産	758,177,727	761,456,179	△ 3,278,452

三 平成22年度事業計画

1 地域の国際化・多文化共生推進事業

(1) 多言語情報発信事業

① ホームページの運営

財団の事業やサービスを広く紹介したり、地域の国際交流・協力活動についての関心を高めるための情報提供、情報交換のできる場としての機能の充実を図るとともに、多言語情報を必要としている住民にとって閲覧しやすいホームページとするため、デザインや構成等の全面リニューアルを行う。

② 多言語メールマガジンの配信

国際交流に関するイベント情報や生活情報をメールマガジンでPC向けに日本語で配信するほか、外国語版（英語、中国語、タガログ語）については携帯電話向けに配信する。22年度は災害時や緊急時に正しい情報を迅速かつ的確に伝達する手段としての活用を視野に入れた関係機関との連携、協議を行う。

③ 機関紙の発行

財団の事業や、地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」を発行する。（年4回・A4 一部カラー刷 12ページ 一部記事については英語・中国語でも表記）

(2) コミュニケーション支援事業

① 医療通訳ボランティア派遣事業

登録している医療通訳ボランティアを病院や保健機関、また外国出身者からの依頼に応じて派遣する。

② 国際交流コーディネーターの配置

外国出身者の日常生活における言語及び文化の違いによる障壁をできるだけ低くするべく、英語圏及び中国語圏出身の国際交流コーディネーターを配置し、面談や電話等により、さらにトリオフォン（三者通話機能）も活用して母国語で困りごと等の相談に応じるとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行う。また、ホームページやメールマガジン、機関紙といった情報ツールによる発信情報等の翻訳、国際理解を促す財団事業の企画、運営のほか学校や地域の要請に応じた国際理解講座の講師を勤める。

③ 日本語クラスの運営

外国出身者が日常生活のうえで必要最低限のコミュニケーション能力を身につけ、自立した生活を送る一助となるよう、専任講師とボランティアによるクラス形式の日本語教室

を運営する。

(3) 人材育成事業

① 医療通訳ボランティアフォローアップ事業

言語及び医療や母子保健に関する専門知識、対人援助能力など医療通訳ボランティア登録者としてのさらなる資質向上を目指したフォローアップ講座を実施する。また、登録者の自発的な自己啓発活動を促進するため、勉強会や意見交換会等の会場確保や講師の派遣など側面的な支援を行う。

② 日本語講師・ボランティア養成講座

日本語クラス講師、クラスボランティアパートナー、日本語ボランティアなど県内在住外国出身者の日本語学習支援に関わる人を対象に研修会を開催し、支援者としての資質の向上と活動のためのネットワークの充実を図る。

(4) ボランティア活動の推進及び活性化事業

① ボランティア登録制度の運営

通訳、翻訳、日本語学習支援、交流活動、ホストファミリー等のボランティア登録制度を運営し、公的機関や民間団体等の要請に応じて紹介することにより、県民のボランティア活動を推進する。

② ホームステイ活性化プログラム

民間団体等が実施するホームステイ受入事業と連携しながら、ホームステイを通じた地域の国際理解と活性化を促すため、交流会や受入に役立つホームステイの心得やマナー、言語知識、相手国の文化事情等の情報を提供する出前講座、保険の加入や活動費の支援などを行う。

③ 国際交流・協力団体連絡会議の開催

県内に拠点を置く国際交流・協力団体が、地域の国際化と活性化のために連携して活動していくための連絡調整、情報交換を行う。

(5) 異文化理解推進事業

① 子どものための異文化理解プログラム～わいわい (wide wide) ワールド

小学生を対象に、諸外国の基礎知識、世界の子どもたちの現状、多言語による歌やダンス、遊びやゲームの体験、ものづくりなど、様々な国の文化に触れる機会を提供する「わいわい (wide wide) ワールド」を実施する。3年目の開催となる今年度は、従来どおり財団で広く一般に参加者を募って実施する形式と、関心の高い学校に出向いて講座を実施する形式の二本立てとする。

② 国際交流の集い

県内在住外国出身者と県民が気軽に交流できる機会として、世界の国々の文化を紹介する集いや、外国出身者と共に日本の伝統文化や行事等を楽しむ集いを、異文化相互理解をキーワードに実施する。

③ 異文化理解を促進する「国際交流フェスティバル」の支援

異文化理解の促進を目指して、広く県民と在住外国出身者との協働により県内三地区で開催されている民間団体主催の国際交流フェスティバルに対し、財団が共催の立場で経費の一部を負担するなどの支援を行う。

④ ワールドアラカルト

鳥取空港「空の日」のイベント（9月20日前後）に併せて、民族芸能などのパフォーマンス、民族衣装の展示や試着など、国際色あふれる異文化交流の場を提供する。

⑤ 「話してみよう韓国語」鳥取大会の開催

県からの委託を受けて、鳥取県とつながりの深い韓国を理解するために効果的である韓国語学習の支援と普及を目的として、その成果を発表する大会を開催する。

⑥ 多文化共生出前講座

公的機関や民間団体などが主体となって実施される研修会等に講師を派遣し、多文化共生社会の実現に向けて広く意識啓発を図る出前講座を実施する。

(6) 助成事業

① 私費留学生奨学金支給制度

県内の高等教育機関に在籍する私費留学生に対し、月額2万円の奨学金を支給し勉学生活を支援する。なお、奨学生には「国際交流活動ボランティア」として当財団や地域の国際交流活動への貢献を促す。

(7) 山陰・夢みなと博覧会記念基金活用事業

① 山陰・夢みなと博覧会記念基金助成制度

県民参加型の地域の国際化に資する民間団体主催事業を支援するため、すべての海外渡航費の3分の1（ただし米子ソウル便及び環日本海定期貨客船航路を利用する場合は2分の1）に他の助成対象経費の2分の1を加えた額を助成（同一年内、1団体あたり対象となる事業の回数を問わず、助成額の合計で一般事業300万円、青少年事業を含む場合は500万円を上限）する制度を運営する。

② 多文化共生パネルディスカッションの開催

幅広い層に人気があり知名度も高い方をメインゲストに招いたパネルディスカッショ

ンを開催し、より多くの県民の方、特に、これまで国際交流・協力活動に興味や関心の低かった方々にも来場していただいて県内の国際化の現状を知っていただくとともに、多文化共生の必要性と異文化理解の重要性を啓発する。

22年度は県内でも増加傾向にある国際結婚カップルの子どもたち（ダブル）に焦点を当て、ダブルゆえの苦勞や利点などを自身の体験を踏まえながら話していただき、今後私たちがどのような意識をもって多文化共生社会を築いていくべきなのかを考えるパネルディスカッションを開催する。

<開催日時> 平成22年7月19日（月・海の日） 14：00～15：30

<会場> 米子市文化ホール メインホール

(8) 交流拠点運営事業

全県的な国際化推進のため、本所（県からの委託を受けて鳥取県国際交流センターを管理運営）、倉吉事務所及び米子事務所を運営し、国際交流、国際協力の拠点としての機能充実を図る。また、関連図書や外国語学習教材、日本語教材、外国語の新聞・雑誌等を整備し、利用者の閲覧及び貸出に供する。

2 海外移住・海外技術協力支援事業

(1) 人材育成事業

県からの委託を受けて、県内で技術研修を行う研修員等の受入を実施する。

- ① 韓国江原道相互派遣研修生受入事業 1名
- ② ブラジル交流促進事業（県費留学生、海外技術研修員及び短期研修員受入事業） 3名
- ③ 海外協力推進事業（海外技術研修員受入事業） モンゴル1名
- ④ 自治体職員協力交流研修員受入事業 中国吉林省1名、韓国江原道1名

(2) 助成事業

ブラジル鳥取県人会、南加鳥取クラブ、サンフランシスコ鳥取県人会に対してその活動費を助成することで、会員間の交流を密にし、本県との交流や会員の福祉の向上を図る。

(3) 啓発事業

広く一般県民に国際協力活動への理解と青年海外協力隊への参加を呼びかけるため帰国報告会を開催し普及広報活動を行う青年海外協力隊鳥取県OV会に対し助成する。

3 管理部門

公益法人として適正な管理運営体制を維持する。22年度中に公益財団法人への移行認定申請を行い、新制度と新定款に対応した機関設計と未整備の内部規程の完成、機能的に業務を行うための組織運営の効率化を図る。

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
支 出	I 事業活動支出	110,635	114,054	△ 3,419	
	1 管理費支出	3,116	5,519	△ 2,403	
	(1) その他経費	3,116	5,384	△ 2,268	
	職員給与費	0	135	△ 135	
	2 事業費支出	107,519	108,535	△ 1,016	
	(1) 職員給与費	27,571	28,800	△ 1,229	
	(2) 地域の国際化・多文化共生推進事業費	27,450	42,397	△ 14,947	
	(3) 海外移住・技術協力支援事業費	20,003	15,244	4,759	
	(4) 山陰・夢みなど博覧会記念基金活用事業	21,000	22,094	△ 1,094	
	(5) 共通費	11,495	0	11,495	
	II 投資活動支出	101,264	42,309	58,955	
	1 基本財産取得支出	20,000	41,008	△ 21,008	
	2 特定資産取得支出	81,264	1,301	79,963	
	(1) 退職給付引当資産積立支出	847	1,301	△ 454	
	(2) 基金取得支出	76,689	0	76,689	
(3) 財源調整積立資産取得支出	3,728	0	3,728		
III 予備費支出	3,000	2,000	1,000		
当期支出合計(C)		214,899	158,363	56,536	
当期収支差額(A)-(C)		△ 15,346	△ 17,948	2,602	
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	0	

※ 平成22年度事業会計より平成20年改正公益法人会計基準を適用したことから、前年度予算額は平成21年度一般会計と山陰・夢みなど博覧会基金特別会計の総額を表示。